

◆プログラム

開始時間	終了時間		登壇者
12:50	13:00	開催前の注意事項	田名部 和裕 運動器の健康・日本協会 事務局長
13:00	13:05	開会挨拶	三上 容司 横浜労災病院 病院長
第1部 「待ったなし！二次性骨折予防管理—薬剤治療と転倒予防」 座長／萩野浩、山本智章			
13:05	13:10	座長挨拶	山本 智章 新潟リハビリテーション病院 病院長
13:10	13:30	(1) 二次性骨折予防は、生活期の診療所まで継続して成し得る	山崎 薫 磐田市立総合病院 病院長
13:30	13:50	(2) 二次性骨折予防のリエゾンサービス	星野 美和 新潟リハビリテーション病院 看護師
13:50	14:10	(3) 転倒予防のための運動指導の実際	木村 孝 済生会吹田病院 理学療法士
< 休憩① 5分 >			
14:15	14:35	(4) 在宅・施設内の環境整備のポイント	村山 拓也 新潟リハビリテーション病院 作業療法士
14:35	14:55	(5) 骨粗鬆症薬物治療のポイント	萩行 正博 富山市立富山市民病院 薬剤師
14:55	15:15	(6) 治療継続のための地域連携と診療所の役割	鶴上 浩 鶴上整形外科リウマチ科 院長
< 休憩② 5分 >			
第2部 「脆弱性骨盤骨折が急増中！」 座長／三上容司、井口浩一			
15:20	15:25	座長挨拶	井口 浩一 埼玉医科大学総合医療センター 教授
15:25	15:45	(1) 高齢者の恥骨骨折は危険な骨折！？	宮本 俊之 長崎医療センター 整形外科部長
15:45	16:05	(2) 手術適応と低侵襲手術	上田 泰久 埼玉医科大学総合医療センター 講師
16:05	16:25	(3) 二次性骨折予防も含めたチーム医療	井升 江美子 マツダ株式会社マツダ病院 看護師
< 休憩③ 5分 >			
第3部 質疑応答 座長／萩野浩、三上容司			
16:30	16:50	質疑応答	萩野 浩、三上 容司
16:50	16:55	開会挨拶・御礼	萩野 浩
16:55	17:00	事務局よりアンケートのお願い	田名部 和裕



共催 運動器の健康・日本協会, ユーシービージャパン株式会社 オンライン・シンポジウム 2023 『エキスパートから学ぶ脆弱性骨折予防』

2023年10月29日(日) 13時～17時 Zoom ウェビナー方式
参加費：無料 ※12月1日(金)～12月25日(月) オンデマンド視聴も可能です

昨年4月に大腿骨近位部骨折に対する早期手術と二次性骨折予防のための評価・治療が診療報酬上認められるようになりました。これを受けて、昨年10月に当協会の脆弱性骨折予防委員会と運動器外傷の救急医療に関する委員会の2つの委員会が合同で、大腿骨近位部骨折後の二次性骨折予防と他職種連携に関するシンポジウムを開催しました。それが大変好評でしたので、本年は第2弾として「エキスパートから学ぶ脆弱性骨折予防」と題するシンポジウムを企画しました。

本シンポジウムでは、以前からこの問題に現場で熱心に取り組んできた医師、看護師、薬剤師、理学療法士などの専門家が、脆弱性骨折予防活動の実際やコツなどについてわかりやすくお伝えします。第1部では、二次性骨折予防のための薬剤治療と転倒予防について、第2部では、最近増加してきた脆弱性骨盤骨折についてお話しいたします。無料でインターネット配信しますが、ご視聴には事前登録が必要です。ご希望の方は早めのご登録をお願いします。

【申し込みフォーム】

当日のオンライン視聴・後日のオンデマンド視聴をご希望の方も以下の URL および右の QR コードからお申し込みが必要です。

https://us06web.zoom.us/webinar/register/WN_FuG4-zsaT0ijjSGS0jgnDA



【問い合わせ】

公益財団法人 運動器の健康・日本協会 事務局

Mail: contact@bjd-jp.org

協会ホームページ: <http://www.bjd-jp.org/>

【骨粗鬆症マネージャー単位取得について】

- ・骨粗鬆症マネージャー教育研修単位は、3単位が取得できます。
- ・研修単位が必要な方は、お申し込みの際に、「骨粗鬆症マネージャー認定番号」をご入力ください。

ユーシービージャパン株式会社

	<p>開会挨拶 三上 容司 第2部座長</p> <p>独立行政法人労働者健康安全機構 横浜労災病院 病院長・運動器センター長 運動器の健康・日本協会 専務理事,「運動器外傷の救急医療に関する委員会」担当理事 <専門分野> 整形外科,手外科,末梢神経外科,とくに腕神経叢損傷をはじめとする末梢神経損傷の診断と治療.</p>
	<p>第1部座長 萩野 浩</p> <p>独立行政法人労働者健康安全機構 山陰労災病院 副院長 運動器の健康・日本協会「脆弱性骨折予防委員会」担当理事 <専門分野> 整形外科,骨代謝,リハビリテーション.</p>
	<p>第1部座長 山本 智章</p> <p>医療法人愛広会 新潟リハビリテーション病院 院長 運動器の健康・日本協会「脆弱性骨折予防委員会」委員長 <専門分野> 整形外科,スポーツ整形外科,骨粗鬆症,骨形態計測学.</p>
	<p>第2部座長 井口 浩一</p> <p>埼玉医科大学総合医療センター 高度救命救急センター 教授 運動器の健康・日本協会「運動器外傷の救急医療に関する委員会」委員長 <専門分野> 救急医学,整形外科,外傷学.</p>

第1部 『待ったなし！ 二次性骨折予防管理—薬剤治療と転倒予防』



山崎 薫 整形外科医 磐田市立総合病院 病院長
運動器の健康・日本協会「脆弱性骨折予防委員会」委員
<講義内容>「二次性骨折予防は、生活期の診療所まで継続して成し得る」
大腿骨近位部骨折の治療は、手術と周術期管理を急性期病院が担い、歩行機能の再獲得は回復期病院が担当し、それぞれが役割を分担した連携をすることが多い。大切なことは回復期病院から自宅に退院してもそれで治療を終わりにせずに生活期の診療所で骨粗鬆症治療を受けることである。本講演はそのために必要な緻密な医療連携について述べる。



星野 美和 看護師 新潟リハビリテーション病院 医療相談室・地域連携室
<講義内容>「二次性骨折予防のリエゾンサービス」
2013年から大腿骨近位部骨折患者に対し、二次性骨折予防のリエゾンサービスを開始して今年で10年目を迎える。院内スタッフ・地域の医療機関・介護施設への教育を重視し医療連携を構築するための試行錯誤のこれまでの取り組みを報告する。



木村 孝 理学療法士 大阪府済生会吹田病院 リハビリテーション科 技士長
<講義内容>「転倒予防のための運動指導の実際」
転倒を起こすメカニズムやその環境・生活背景は様々であり、運動機能の向上のみでは予防は困難である。臨床現場における転倒予防に重要な身体的要因や環境、予防活動をこれまでの経験を踏まえ、当院が取り組んできた検診結果内容を含め骨折リエゾンサービスの重要性や転倒予防における運動指導について理学療法士の立場と多職種連携のチームリーダーの立場から紹介する。



村山 拓也 作業療法士 新潟リハビリテーション病院リハビリテーション部作業療法科主任
<講義内容>「在宅・施設内の環境整備のポイント」
二次性骨折予防を目的とした転倒予防活動について、環境整備の視点から、手術前後の患者病室周囲や活動拡大時期の環境整備、退院前訪問指導において在宅での動作確認を通じての環境整備、退院後の参加・活動環境整備等、実際の取り組み等を通じて、それらのポイントを伝える。



萩行 正博 薬剤師 富山市立富山市民病院
<講義内容>「骨粗鬆症薬物治療のポイント」
次の骨折を予防し骨折の連鎖を止めるためには、転倒予防と並び骨粗鬆症薬物治療を確実に開始することが重要である。骨粗鬆症治療薬の選択と導入、患者指導や副作用について、当院の実例を交えながら解説する。



鶴上 浩 整形外科医 鶴上整形外科リウマチ科 院長
<講義内容>「治療継続のための地域連携と診療所の役割」
骨粗鬆症治療連携における維持期診療所の役割として、急性期病院や回復期病院から退院後の骨折患者の治療継続のみならず、最終的な治療継続の場となる整形外科診療所や内科かかりつけ医、歯科診療所との診療連携の構築や医師会を通じた連携の構築について報告する。

第2部 『脆弱性骨盤骨折が急増中！』



宮本 俊之 整形外科医 長崎医療センター 整形外科部長
<講義内容>「高齢者の恥骨骨折は危険な骨折!？」
高エネルギー外傷の代名詞であった骨盤輪骨折は脆弱性骨盤輪骨折として近年整形外科のトピックである。この概念を提唱したドイツのRommensは第5の脆弱性骨折であると報告し、骨折型が進行することが知られている。よって転倒して体動困難となった場合には骨盤X線で大腿骨近位部骨折だけでなく、恥骨骨折にも注目しなければならない。恥骨骨折を認めた症例提示し、誰もができる治療指針をお伝えしたい。



上田 泰久 整形外科医 埼玉医科大学総合医療センター 高度救命救急センター講師
<講義内容>「手術適応と低侵襲手術」
脆弱性骨盤骨折では、初期には転位の少ないものが多く、手術適応の決定に難渋することがある。一見転位の少ないもののなかにも、後に転位が増悪し手術を要するものがあり、注意を要する。手術的治療を行う場合は、侵襲が少なく強固な固定性を得ることが求められ、正確な手技を要する。これら手術の適応と手術手技について解説する。



井升 江美子 看護師 マツダ株式会社マツダ病院看護部 脳神経外科外来主任
<講義内容>「二次性骨折予防も含めたチーム医療」
当院では、2012年より骨粗鬆症リエゾンサービス(OLS)活動を開始。2020年より脆弱性骨折(大腿骨近位部・椎体・橈骨遠位端・上腕骨近位部・肋骨・骨盤・下腿骨)患者に対する二次性骨折予防を目的とした、骨折リエゾンサービス(FLS)を開始し、DXA検査、骨粗鬆症薬治療開始、継続治療管理等を行ってきた。OLSチームのチームリーダーとして、多職種で行う二次性骨折予防も含めた、取り組みや成果を紹介する。